

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)

会場：奥武山水泳プール

ゲームNo.

19

帽子の色 白

埼玉栄

8

0	-	2
6	-	1
1	-	2
1	-	5
	PS	

10

帽子の色 青

秀明英光

審判1: 梶原 洋祐

審判2: 大坂 淳

戦評

平成の高校水球界を牽引してきた堅守速攻が持ち味の両校。前日惜しくも決勝進出を逃した悔しさをこの試合にぶつけ埼玉県対決を制するのはどちらか。

第1ピリオド

秀明⑩竹村がセンターボールをとり試合開始。埼玉栄④中山がワンタッチシュートを放つも惜しくも外れる。両校退水誘発をするも不発に終わる。4:54秀明⑤大江がシュートのこぼれ球を押し込み先制点、4:24秀明⑩中村がカウンターから追加点をあげる。埼玉栄⑦針谷、④中山が果敢に攻撃を仕掛け、シュートを狙う。(埼玉栄0-2秀明)

第2ピリオド

7:05埼玉栄③今が退水攻撃時に得点、続けて6:09埼玉栄⑧太田陸も退水攻撃時に得点し同点。5:26④中山がカウンターからミドルシュートを決め逆転するも、4:28秀明⑩中村がカウンターから得点し3-3の同点。すぐさま4:18⑦針谷がキーパーの意表を突くシュートで埼玉栄が再びリード。2:45埼玉栄⑧太田陸がカウンターから追加点。⑧太田陸は固さが抜けいい動きとなる。流れは埼玉栄にあるか。流れを呼び込みたい秀明は⑩中村がシュートを幾度となく狙う。0:11埼玉栄②田中がペナルティを誘発、④中山が得点。3点差になったところで2ピリオド終了。(埼玉栄6-3秀明)

第3ピリオド

昨日同様の追い上げを見せたい秀明であったが、7:38埼玉栄⑤太田剣が⑧太田陸からパスを受け得点。突き放したい埼玉栄であったが、ペナルティ誘発も不発。秀明が猛攻をみせるが、埼玉栄GK①森岡の好セーブを連発。今大会絶好調か。約6分間のラリーが続いたところで、ここで落ち着いてプレーさせたい埼玉栄はタイムアウト。0:46秀明⑩中村ペナルティを誘発し、自ら得点。追い上げが始まるか。0:05秀明⑩中村が連続得点で2点差に詰め寄り、勝負は4ピリオドへ。秀明⑩中村の活躍が目立つ。(埼玉栄7-5秀明)

第4ピリオド

4ピリオド目先制点を7:03秀明⑦青山がカウンターからループシュートを決め1点差になる。6:26秀明⑩竹村がこぼれ球にいい反応をし、同点となる。秀明が4連続得点で勢いに乗りたいが、4:07埼玉栄⑥山本がディフェンスからのプレッシャーを受けながらGKの動きをよく見て得点。2:56秀明⑩中村がゴール前でパワープレーで再び同点。残り約3分で会場の声援は大きくなり、攻防はヒートアップしていく。1:22秀明⑩中村がポストプレーでリード。0:50秀明⑩竹村が試合を決める追加点。埼玉栄はキャプテン④中山、③今も最後まで粘りのプレーを魅せるものの、秀明が3位を勝ち取りました。(埼玉栄8-10秀明)

両校素晴らしい攻防が続いた。埼玉栄の2・3ピリオド目の連続得点、相手を抑え込むディフェンスは素晴らしかった。秀明も昨日同様、試合終盤の猛攻は圧巻であった。両校をまとめた3年生の健闘を称えたい。今試合も含めて2年生以下の活躍が目立ち、両校ともに次年度は更なる高みを目指してほしい。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一

令和元年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第87回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：令和元年8月17日(土)～20日(火)

会場：奥武山水泳プール

ゲームNo.

20

帽子の色 白

鹿児島南

15

3	-	3
3	-	3
3	-	1
6	-	4
PS		

帽子の色 青

鳥羽

11

審判1： 牧田 和彦

審判2： 福元 寿夫

戦評

安定した守りとどこからでも得点が狙える攻撃力で他を圧倒してきた鹿児島南と、準決勝の激闘を制し平成16年以來の優勝を目指す鳥羽高校との一戦。

第1ピリオド

鳥羽⑥渡邊がセンターボールをとり試合開始。7:04鹿南③長谷川がカウンターから先制点。鳥羽も負けじと6:19⑥渡邊のミドルシュートを決めて応戦する。5:24鹿南⑥加治木がゴール前で相手を回し込みペナルティを誘発、⑦荻原がGKの頭上を射抜くシュートで得点。3:36鳥羽⑥渡邊フリースローシュートがゴール隅に決まり同点。3:11鹿南⑦荻原がすぐさまミドルシュートを決める。両校選手の好プレーが続き、会場も盛り上がっていく。1:00鹿南はペナルティを誘発も不発。逆に1:49鳥羽⑥渡邊が相手選手の裏をとりワンタッチシュートで同点。常に何が起こるか分からない展開が続く。(鹿児島3-3鳥羽)

第2ピリオド

7:37鳥羽⑥渡邊が相手を回し込みそのまま得点。今日という日を待ち望んでいたと言わんばかりの大活躍。4:25鹿南⑥加治木が目の前に落ちたボールに素早く反応し、同点に追いつく。3:18鳥羽⑫1年生藤井が渾身のシュートを決め鳥羽がリードするも、2:50鹿南②園田のミドルシュートで再び同点。1:23鹿南⑧江崎翔が退水攻撃時に得点するも、1:06鳥羽⑥渡邊がすぐさま点を取り返す。お互い一歩も譲らず、選手の一挙一動に注目が集まる。(鹿児島6-6鳥羽)

第3ピリオド

7:11鳥羽がペナルティ誘発も不発。鹿南GK①木之下、鳥羽GK①岡田ともにペナルティをとめる活躍をみせる。5:45鹿南⑥加治木がゴール前のパワープレーで得点。ここで追加点をあげ相手を離したい鹿南は、4:01⑥加治木がゴール前でこぼれ球を押し込み追加点。勢いに乗りたいたい鹿南であったが、3:03鳥羽②岡本がいいところでミドルシュートを決め1点差となる。その後、1:58⑧江崎翔が退水攻撃時に得点し、2点差に広げる。鳥羽は果敢に攻めるも、この点差のまま最終ピリオドへ。(鹿児島9-7鳥羽)

第4ピリオド

7:01鹿南⑥加治木が強烈なバックシュートで追加点をあげ、鹿南選手が大きくガッツポーズ。6:18鹿南⑦荻原がハンドアップをかわしてミドルシュートを決め、4点差。鳥羽はタイムアウトで鹿南の流れを止めたい。不運にも強風にボールが流され、鳥羽がボールを失う。鹿南は5:35④田村が退水攻撃時に追加点をあげ5点差。鳥羽も退水を誘発し、攻めるが鹿南GK①木之下が好セーブ。3:46鹿南⑦荻原がゴール前で点をとる。3:11鳥羽⑤藤原が退水攻撃時にGKの頭上を射抜くシュート、1:56鳥羽⑥渡邊が退水誘発後、そのままフリースローシュート、1:25鳥羽②岡本のカウンターでの連続得点で3点差まで詰め寄る。「もう一本！もう一本！」と声を掛け合う鳥羽選手。鹿南も1:03⑦荻原が退水攻撃時の得点、③長谷川が追加点をあげ、「最後まで！最後まで！」と声を出し合う。0:29鳥羽⑥渡邊が個人7点目をあげるも、鹿児島南高校が15-11で優勝を飾る。優勝の瞬間も、最後のプレーについて話し合う落ち着いた鹿児島選手の貪欲さには脱帽である。(鹿児島15-11鳥羽)

令和初の優勝をかけ超高校級のプレーがぶつかり合った戦いは、鹿児島南高校の優勝で幕を閉じた。最後まで全力プレーで決勝戦にふさわしかった両校選手のプレーは、大会スローガンのように、我々の魂に響き、心打たれるものであった。

記録者

砂子阪誠・今崎哲也・加藤博一